
こういう離島というのは非常に開発の余地がある。

ただ、個人的には残念だったのですが、ここに外資のクルーズ船の大規模な拠点をつくるという構想がありましたが、これは住民の反対で頓挫してしまいました。

〔福岡の写真〕

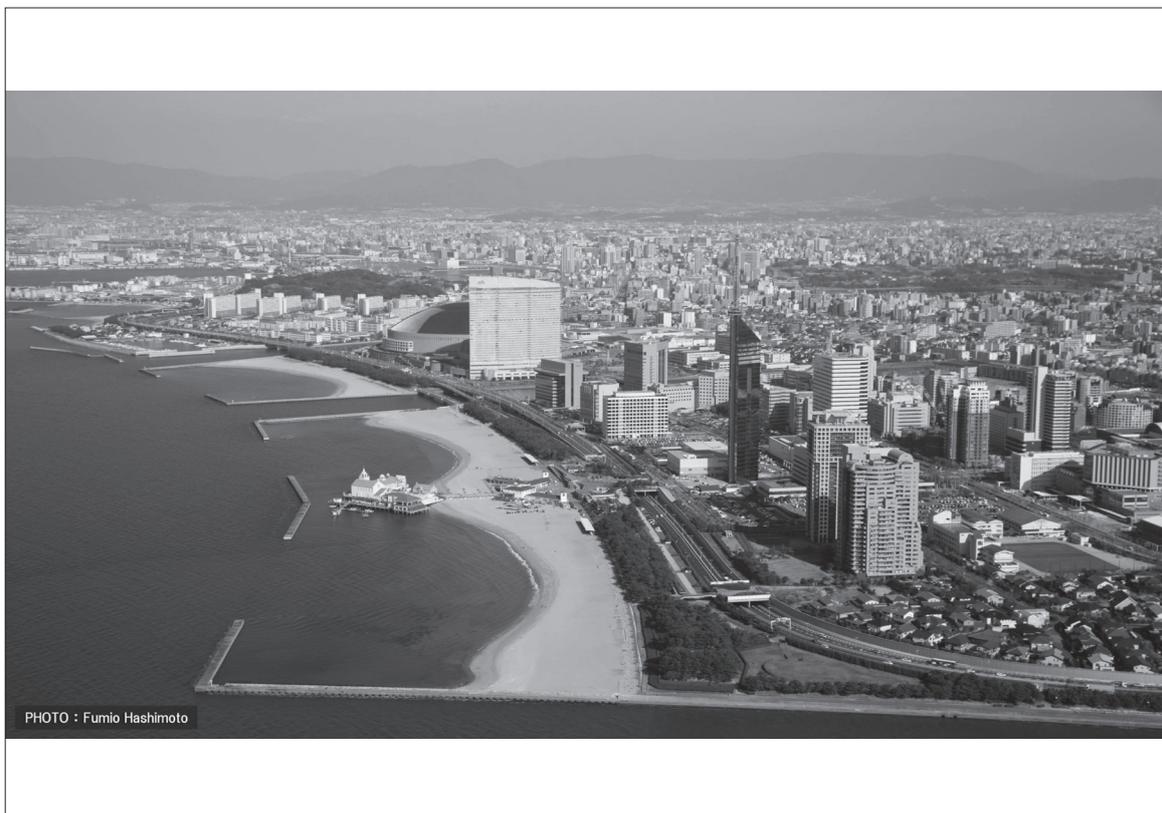
福岡のお話をしたいと思います。これは、皆さんも大体ご存じのシーサイドの埋め立て地です。ここにシーホークがございますが、ここに情報産業の拠点もあります。

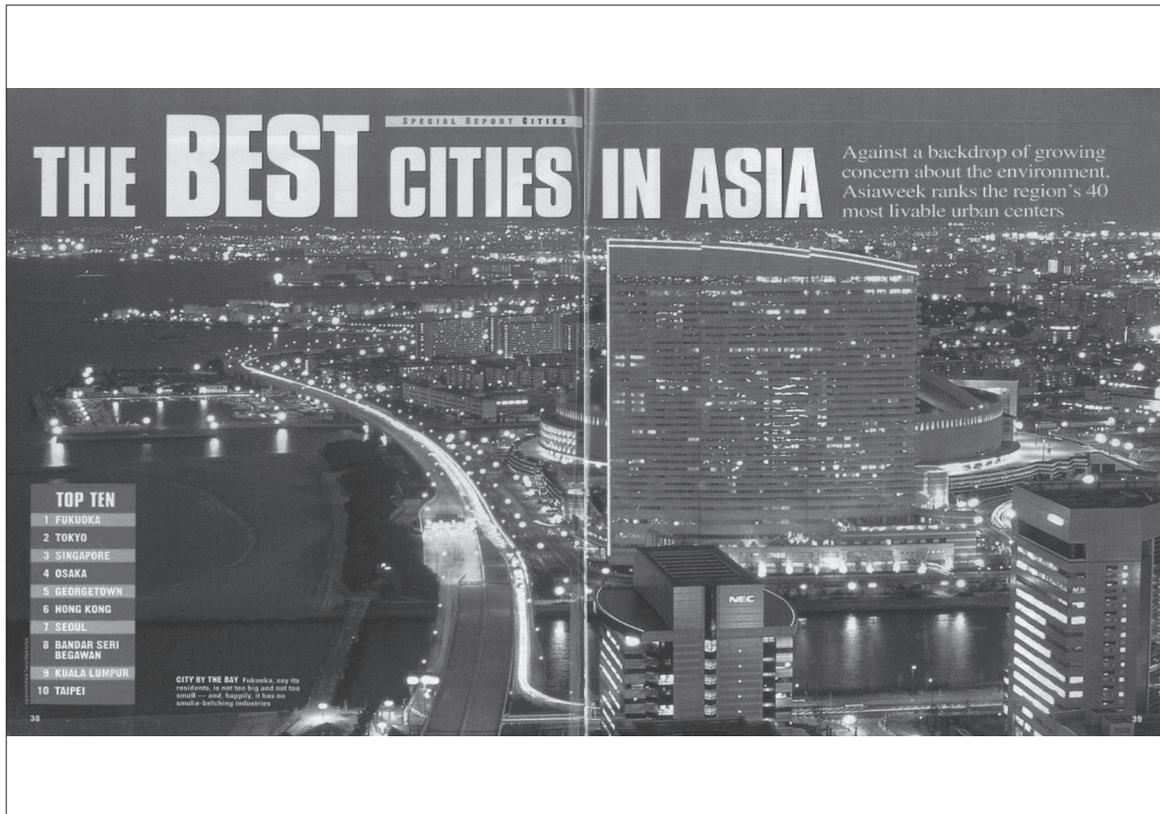
この辺りに戸建てがありますけれども、1億円以上で売られた戸建てになっています。

〔福岡夜景〕

これは、「アジア・ウィーク」という雑誌の1997年12月号で初めて福岡がアジアナンバーワン都市として取り上げられた記事です。

先ほどもいろんな大学ランキングもできましたが、これからは大学に限らず、地方都市もこういった世界ランキングにきちんとのっていくことが、大変重要になっておりまして、福岡でも様々なアピールをしております。最近だと、イギリスの「モノクル」という雑誌で、住みやすい都市ランキングで7位。東京が1位だったのでどうなんだという批判もあるようですが、一応7位ということになっております。





「世界の住みやすい都市ランキング」『モノクル』(イギリス)2016年

- 1位 東京
- 2位 ベルリン
- 3位 ウィーン
- 4位 コペンハーゲン
- 5位 ミュンヘン
- 6位 メルボルン
- 7位 福岡
- 8位 シドニー
- 9位 京都
- 10位 スtockホルム

〔地図〕

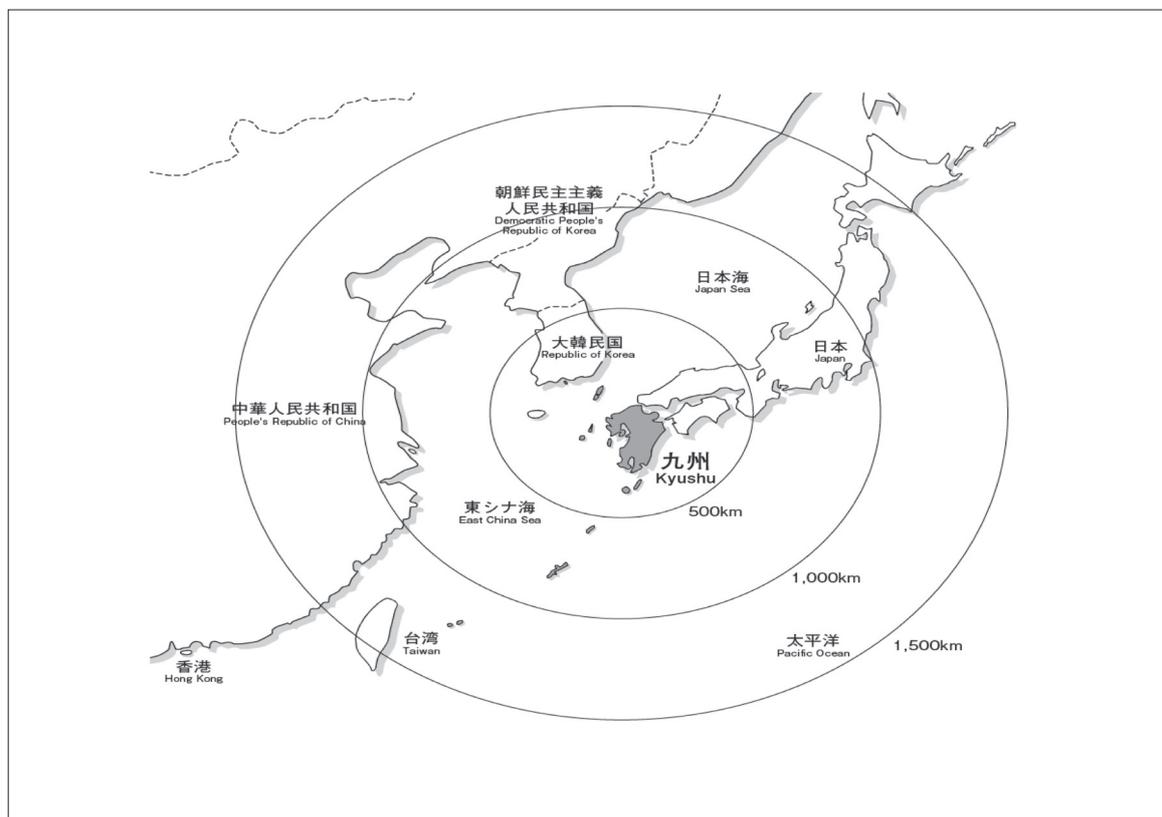
これは、東アジアを、九州を中心として地図を描いたものです。日本列島は、北から南まで3,000kmぐらいあります。3,000kmと申しますと、北欧からアフリカまでと同じ広がりを持っていることとなります。そういう意味では、一つの国とあまり考えないほうがいいのではないかと考えておりました。福岡を中心に大体1,000km圏で考えると、いろんな国や都市が入ってくる。沖縄ですと、違う地域が入ってきますね。

〔福岡市国際化推進計画（2003年）〕

実は、福岡市は2003年に国際化推進計画というのを作っておりまして、その計画のなかで様々な目標値をつくりました。留学生の目標値は、3,500人でしたが、実際は7,500人が来ています。地元では、全然当たってないじゃないかと批判されたのですが、博多港の外国人観光客は、今年大体100万人近くになるのではないかと申すように、いろんな数字が全部上回っております。一方、海上コンテナは残念ながら目標としてきた100万個には届きませんでした。

〔福岡市の外国人居住者数の推移〕

外国人の居住者数も、順調に伸びていて、地方中枢都市のなかでは一番増加率が高い状況にあります。

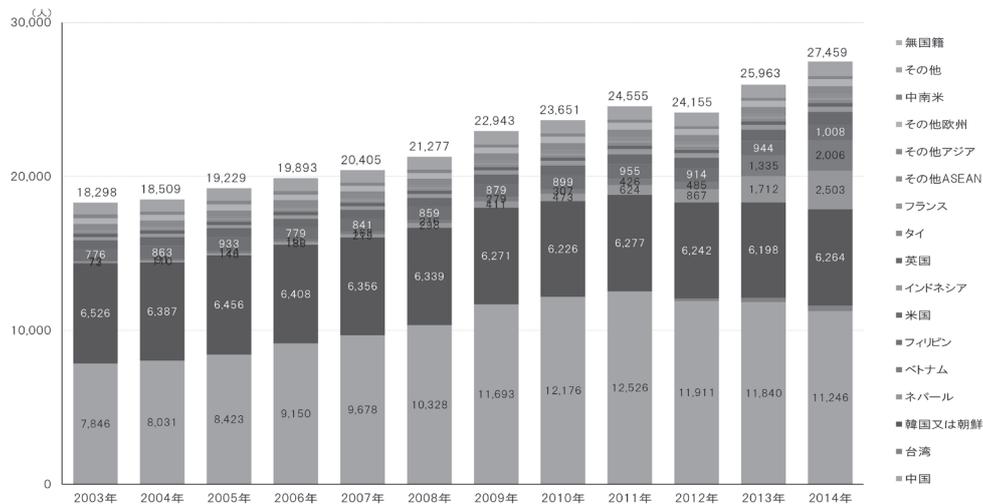


福岡市国際化推進計画(2003年)

2015年目標KPI

- 留学生数 3,500人(2015年7,500人)
- 博多港外国人旅客数 80万人(2015年86.6万人)
- 博多港+福岡空港の貿易額 2.65兆円(2015年4兆円)
- 外国人延べ宿泊者数 60万人(2013年80.7万人)
- 国際会議開催件数 220件(2014年336件)
- 海上コンテナ貨物数 100万TEU(2014年 91万TEU)

福岡市の外国人居住者数の推移



〔IRBC（国際地域ベンチマーク協議会）〕

これは、シアトルが自分たちと同じような都市を選んで、それらの都市で、国際地域ベンチマーク協議会を立ち上げて、2カ月ほど前には、ストックホルムでその全体の会議を行うことが決まったということです。

〔将来の成長率が期待できる沖縄県〕

最後に沖縄の話をしたと思います。沖縄というのは東京から最も遠い離島であり、いわば辺境の地で、一人当たりの県民所得額が最も低い状況にあります。しかし、近年人口増加率や出生率が全国1位で、第3次産業化比率が東京都に次いで沖縄が2位になっています。住宅地の地価上昇率は、全国1位で将来の消費水準の伸びも、人口が増えますので、恐らく全国1位になるだろうと、日本政策投資銀行は予想しておりまして、失業率も落ちてきております。

〔内閣府『地域の経済 2015』、p.6〕

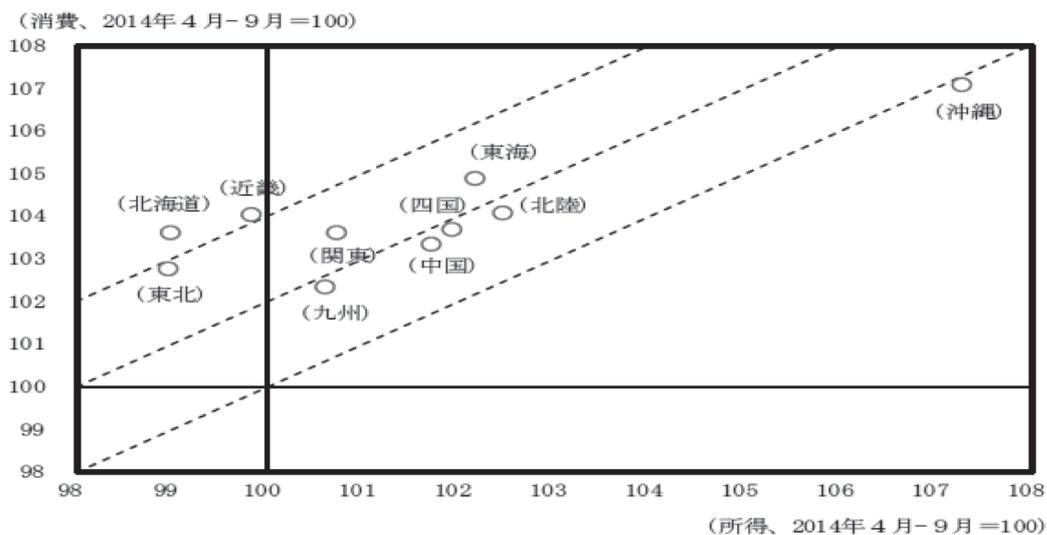
これは内閣府のつくったものなので、後で報告書を見ていただければいいと思いますが、所得と消費の将来の伸びを見たものです。沖縄だけが飛び抜けたところがありまして、消費と所得の好循環に入っていると考えられます。



将来の成長率が期待できる沖縄県

- 1人当たり県民所得：68.8(2007年)→74(2013年)
- 有効求人倍率：0.2～0.3程度→2016年7月1.04倍で鹿児島県、埼玉県を上回る)
- 失業率：2003年から2011年までは7%超え→2016年8月3.9%
- 2016年度地方税収伸び率：全国2位(1位は愛知県)
- 出生率1位(1.94)
- 人口増加率1位(2015年国勢調査)
- 第三次産業化比率2位(1位は東京都)
- 2015年の住宅地の基準地価全国1位の伸び率
- 住みたい県ランキング2位(J・タウンネット調査)
- 2040年消費水準107で全国1位(全国は90)：日本政策投資銀行の推計

内閣府『地域の経済 2015』、p.6



〔ANA沖縄貨物ハブ〕

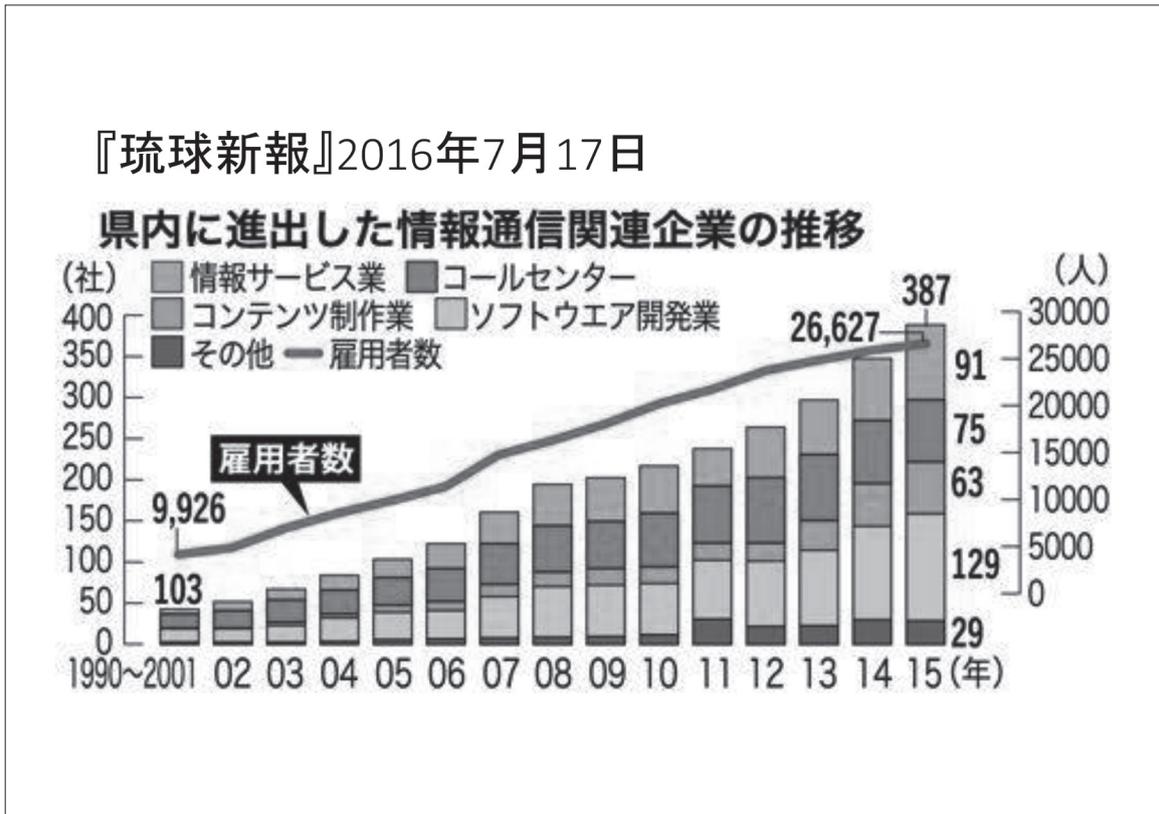
全日空が取り組んでおります沖縄貨物ハブというものであります。私はこの委員に名を連ねています。その仕事で何度も沖縄に行っていますが、近年貨物量の取扱量が急増しています。目標値にはまだ届いていないのですが、沖縄という地理的なポジションを活用して、国際物流拠点にして、そこにさまざまなストックヤードを作っていくという様な動きがあります。

〔『琉球新報』2016年7月17日〕

この図は、沖縄県の情報通信関連企業の集積です。新聞記事から持ってきておりますが、もともとは県のデータです。

これを見ていただきますと、雇用者数にしても、進出企業数も順調に増えてきていることが分かります。もともとIT系の集積があったわけではなく、最初にコールセンターというものが全国各地に立地しました。そのころ、いろんな地方に行きまして、これからは工場よりコールセンターがいいというようなお話もしたこともあります。コールセンターなんか来たって低賃金の若い女性が働くだけではないかというようなご批判も多々あったのですが、沖縄ではコールセンターの増加をきっかけに、ソフトウェアの開発だとかICT関連の様々な業種が集積してきました。インターネットと航空というのは、ある意味飛び道具でありますので、それをうまく活用すると地域開発の新しい潮流が生まれていくのではないかと思います。





〔東京飛ばしの地方創生〕

さらに続きを聞きたいなという方は、こちら、『東京飛ばしの地方創生』という本が好評発売中になっておりますので、藻谷浩介氏も推薦ということになっておりまして、ぜひお読みいただければと思います。久保さんという方は、元森ビルにいらっしゃいまして、その当時、世界都市ランキングを初めてつくった方です。これは、もともとは『グローバル地方創生』というタイトルにしておりましたけれども、営業サイドからは、「先生、そんなタイトルじゃ売れません」と忠告され、『東京飛ばしの……』というタイトルになっております。

〔グローバル地方創生戦略〕

あと、細かい話は、ディスカッションのなかでまたお話することができると思います。時間の都合で、とりあえずお話はここまでしたいと思います。

どうもありがとうございました。(拍手)

(湯元) 山崎先生、大変ありがとうございました。

続きまして、石田先生から、ヤフーの取り組みを中心に、中核都市以外の地方の創生につきましてお話を頂戴したいと思います。



グローバル地方創生戦略

- 農家民泊、自然体験、農業体験
- オルレ、ラフティング、フットパス
- 国立公園等の活用(新しい第三空間)
- 古民家・廃屋の再生(アレックスカーの徳島県祖谷地区、古民家カフェ、NIPPONIAなど)
- 高校、専門学校への留学生誘致(人口比当たりでは大分県が2位)
- メニュー、標識、案内の多言語化
- 国際認証の取得(GI、グローバルGAP、ASC、コーシャ、ハラール等)
- 海外の商談会、品評会、世界ランキング
- 伝統工芸の新しい用途・新しい需要(プレミアム価値)
- クレジットカード、免税店
- 国際物流の新しいシステム(冷蔵コンテナ、ANA沖縄貨物ハブ、国際宅急便)
- **LCC、クルーズ船**
- 高度外国人材(新渡来人)や外資系企業の誘致

(石田) 皆さん、こんにちは。ヤフーの石田と申します。私からは事例を中心に紹介したいと思いますが、はじめに、少し自己紹介をさせていただきますと思います。

私は、1992年に信州大学工学部を卒業し、医療機器メーカーに入社しました。もともとエンジニアの出でございませう。96年からヤフーに入りまして、先ほどお伝えしましたが、もう20年勤めております。

2009年から内閣官房の内閣広報室というところに出向させていただいて、国の仕事をさせていただきました。出向の終わりの時期に震災が起きてまして、大変痛ましいことではあったのですが、私自身としては、そのときに首相官邸のホームページを担当しており、まさに1番最前線でやらせていただいたというのはいい経験になりました。

住所は、東京都多摩市でございまして、先ほどお話があった東京のなかでも地方です。地域です。田舎です。その田舎暮らしが東京で体験できるということで住んでいるという背景もございませう。大学生、高校生、小学生という三人の子供の父でございませう。



石田室長

〔地方創生6つのチャレンジ〕

地方創生に対して、私達もショッピング、オークション、それから広告プロモーションなどでのいろいろな事業を行っております。そうした概要はお手元の資料とホームページにも詳しくございませうの

ヤフー株式会社
 公共サービス事業本部兼
 地方創生支援室長
 石田幸央

ヤフーが考える地方創生のカタチ

**成長鈍化の東京・人口減少の地方
 ～付加価値創出力をどう高めるか～**



で、後ほどごらんいただければと思います。

[ヤフーに今ある地方創生のカタチ]

さて、私たちが考えている地方創生の考え方や、その先にある地方での事例を中心にご紹介したいと思います。

私たちには、自治体の方々が住民に対してサービスをするプラットフォームと、自治体から全国および世界に対して情報を発信するプラットフォームの両方を提供しています。そういったものを地方の皆様と一緒に事業をやらせていただいております。

[ふるさと納税「公金支払い」の推移]

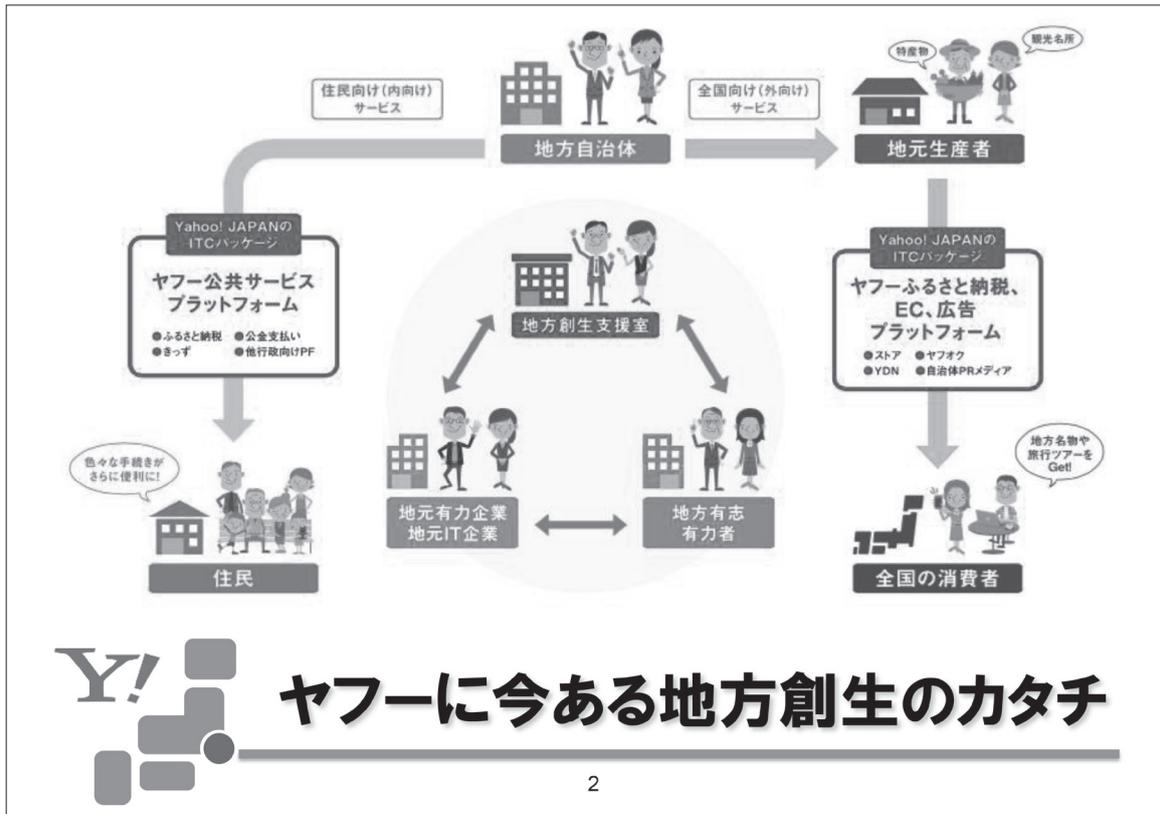
ご存じ、ふるさと納税なんですけれども、皆さんのなかで、ふるさと納税をまだやられてない方はいらっしゃるでしょうか。(挙手する人あり)

ぜひやってください。恐らく、今、手を挙げた方々は損をしていると思います。ふるさと納税をすると、住民税の先払いシステムで、来年、それが還付されるので、全部戻ってくるわけですが、加えて返礼品が戻ってくるという仕組みです。返礼品に関しては、ただいただけるものなので、ぜひやってみてください。皆さんであれば、恐らく10万円ぐらいできて、4万円ぐらいのものが返ってきます。

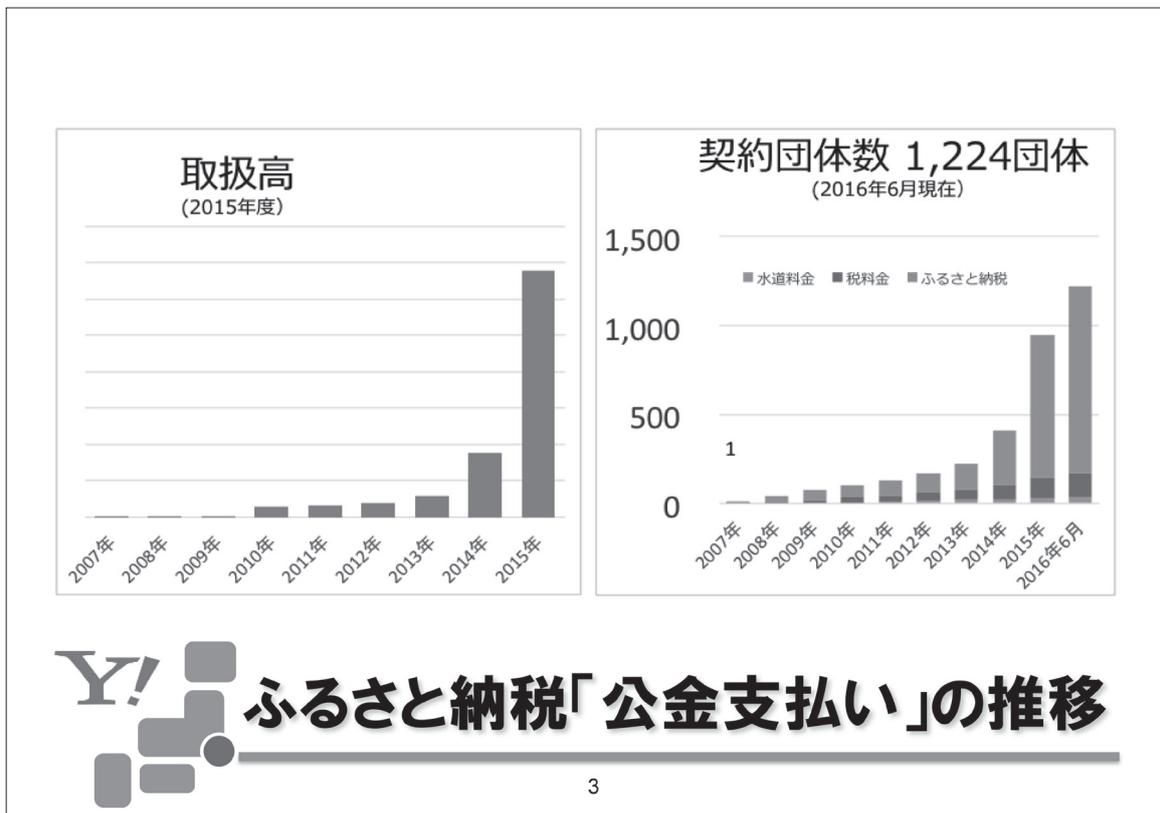
このようなことが認知されて、去年から爆発的に伸びまして、去年、私たちのふるさと納税で取り扱

The infographic is titled "地方創生6つのチャレンジ" (6 Challenges for Local Revitalization) and features the Yahoo! logo. It lists six challenges:

- Challenge 1: 地域の魅力や全国区に!** (Local charm to the whole country!) - Focuses on nationwide marketing for local products.
- Challenge 2: 特産品や地域観光の域外市場開拓を支援!** (Support for expanding specialty products and regional tourism to overseas markets!) - Focuses on international expansion for local products.
- Challenge 3: 地方自治体への支払いを便利に!** (Make payments to local governments easier!) - Focuses on simplifying public fund payments.
- Challenge 4: 全国への情報発信と物販について習得!** (Learn about nationwide information dissemination and goods sales!) - Focuses on nationwide information dissemination and goods sales.
- Challenge 5: 地方への資金や寄付をもっと広げたい!** (Expand funding and donations to local areas more!) - Focuses on expanding funding and donations to local areas.
- Challenge 6: 復興支援や災害支援を伸ばしたい!** (Expand disaster relief and recovery support!) - Focuses on disaster relief and recovery support.



2



3

いさせていただいている金額が1,500億円になりました。今年、1.5倍から2倍になりそうということで、さらに伸びております。こういった東京および首都圏からの地方への、ある意味寄附の仕組みですが、結局、税収が地方で伸びるというすばらしい仕組みだと思います。返礼品合戦が過熱しているということで、とくに12月頃から、いろいろ言われ始めておりますが、恐らくこの仕組みをやめられる国の方々はいらっしやらないんじゃないかなと思うぐらい、うまく回っている仕組みだと私は思っております。

これによって、地方でのふるさと納税に対する意欲と、あと、そこで税収を上げようという役所の方々の商売の感覚ですね。今まで全くなかったと思いますが、何とか税収を上げようという努力がみられるようになってきています。例えば町長、村長から、「今年は1億やれ!」とかいう指示が出ているそうです。そのぐらい、やっぱり稼がなければいけないと、市町村の人たちが思っているというのはすばらしいことだと思います。そのなかで私たちもお手伝いしているというのが現状です。

[ヤフオク! 官公庁オークションとリユース]

鯖江市で、ヤフオクを使って、サバオクというのが始まっています。サバオクで検索していただければ、すぐ出てくると思いますので、細かいことは省略いたします。

[ヤフーネット募金]

それから、ヤフーの募金は、ネット上に基金を立ち上げて、そこに募金をしていただくという仕組みですが、その日のうちに立ち上げられるぐらいのことができるようになってきていますので、熊本の地震のときにも非常に多くの募金を集めることができました。

[IT人材育成事業]

今、とくに力を入れているのは、このIT人材育成事業です。こちらに示しているのは、専門学校、大学生および高校生に対する人材育成の取り組みで、EC人材を増やそうという取り組みです。そして、また後ほど、小学生向けというのもご紹介します。

[地域支援・震災復興支援事業]

地域の震災復興支援事業ということで、ツール・ド・東北という自転車のイベントをやっております。かなりの経済効果が出ているというようなデータも出ております。

[災害協定]

それから、災害協定。こちらも災害時に、とくに身近な例では熊本、それから鳥取でも地震が起きましたが、そのような場合、大概自治体のホームページはパンクしてしまいます。そこで、弊社と災害協定を結んでいただきますと、ヤフーの検索結果のところにキャッシュサイトが出てきます。そうすることで、トラフィックを分散することができるようになります。パンクしないで、いつでも見られる状況をつくり出すことができるようになります。こちらは無料で私たちの社会貢献の一環としてやらせていただいております。まだ提携を結んでいない自治体の方がいらっしやったら、ぜひお問い合わせください




リユース作戦「サバオク」とは

「サバオク」は、福井県鯖江市がYahoo! JAPANとの協賛のもと、自治体初の業務提携を組み立てる。オークションによる地域の活性化と資源の循環を目的としたプロジェクトです。

まちの不要品や
取り出し物を
オークションで買取
reU funding
まちを盛り上げる

鯖江市内の事業所や商店内に設置している不要品や取り出し物を、リユース(再利用)商品としてヤフオクに出店します。非営利の情熱や新しいアイデア、市民が中心。一部の品目には入札が難しい。少額参加の品目も取り扱っています。

※地域活性化・コミュニティ

官公庁オークション

歳入増に貢献
12年間で約340億円

2004年7月15日
公売オークション開始

2007年1月25日
公有財産売却開始

東京都主税局 公売オークション

官公庁オークション

リユース施策

官公庁 オークション	リユ ファンディング
---------------	---------------

地方創生

環境問題 (ゴミ削減)	地域経済 活性化	歳入増
----------------	-------------	-----



ヤフオク! 官公庁オークションとリユース

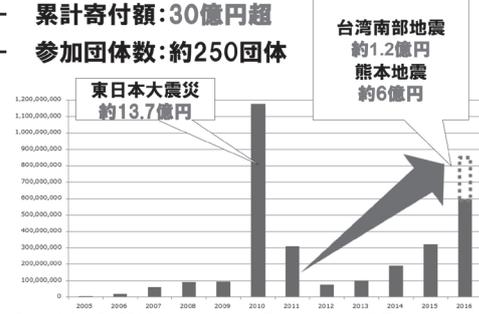
- NPO団体など社会課題解決のためのプロジェクトへ、ユーザーから寄付を募集するサービスです。カード決済のほか、Tポイントを使って簡単に寄付ができます。
- 2004年11月のサービス開始より、累計で30億円超の寄付をいただいています。



- 累計寄付額: 30億円超
- 参加団体数: 約250団体

東日本大震災
約13.7億円

台湾南部地震
約1.2億円
熊本地震
約6億円



Copyright (C) 2016 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved. 無断引用・転載禁止



ヤフーネット募金